

やっぺす通信は「よこはま型若者自立塾による石巻震災支援×若者就労支援プロジェクト うんめえもん市」の活動内容をお伝えする活動レポートです。石巻の食材を使ったおいしい手作りお弁当を食べながら、ぜひこのニュースターも毎月手に取ってお読みいただくと嬉しいです。これまでの号についても石巻復興支援プロジェクトのホームページにて公開しています。もうすぐ3月、3・11の震災から2年の月日が経ちました。単なる復興支援ではなく、おいしくて若者が元気になって東北も元気になるプロジェクトとしてこれからも「うんめえもん市」をよろしく願います!!!

石巻スタッフ ゆりこ の横浜うんめえもん市体験!

亀山 友里子

毎月うんめえもん市開催を楽しみに待っていてくださる皆様、いつも応援ありがとうございます。K2石巻スタッフで石巻っ子の私亀山は今横浜に滞在し、約1年ぶりにうんめえもん市のスタッフと共に売り場に立っています。



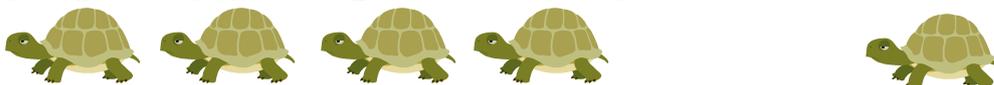
ひさしぶりに横浜でみんなと活動しているいろんな驚きと発見をしているところです。

早朝・・・というか、まだ夜明け前の真っ暗なうちから調理場での作業は始まり、出来るだけ作りたてのおいしさをお届けする為に緊張感いっぱい

のキッチンでたくさんのお弁当を作っています。次に、そろそろ明るくなってきた頃から販売チームも動きだし、受け取ったお弁当や石巻から届いた物産をお昼までに素早く、そして丁寧にお届けする為にK2内のいろんな部署から応援に入り大忙しで配達と陳列。スタッフや研修生も含めたチームで毎回販売方法や段取りについての打ち合わせを重ねて当日に臨んでいるのですが、それでもハプニングの連続、時間との闘いです。販売が終わり片付けと反省会。お弁当などが完売するとみんなの達成感は本当に大きなものです。私もなんとかみんなについていっているような状態です。

私というのかもしれませんが・・・。石巻の復興の為にスタートしたこの活動が、このように多くの皆さんに育てていただき、大きくなっている事に改めて感動しています。私は普段は石巻にいますが、この横浜での働きを地元の人たちへたくさんの方の応援がある事を伝えたいなあとと思っています。まだしばらくこちらにいますので、たくさんの方にお会いしてご挨拶し、販売現場で、みなさんに感謝の言葉を伝えたいと思っています。しかし、一方で横浜で生活していると復興支援という事はどんどん忘れられてしまっているのかな・・・とも感じています。たしかに石巻でも緊急事態は過ぎており、日常の生活を取り戻してはいるのですが、瓦礫はキレイに片づけられ数ヶ所に集められましたが、何もない殺風景な空き地が広がっています、一方、海の中の瓦礫撤去はまだ進んでいません。私たちの生活は、避難所から仮設住宅に移りましたが、その後の見通しが全然立たないという方が多く、不安を抱えています。古くからのコミュニティーが崩壊し、高齢者や子どもたちを近所ぐるみで見守り、助け合うということも難しくなりました。子どもたちの遊び場も激変し、ストレスから学校で暴れる子どもも少なくないと言います。狭い仮設住宅には居場所がなく、放課後も家に帰れないまま居場所を求めてさまよい歩く小・中学生も増え、音の漏れやすい仮設住宅で子どもの声に敏感になりすぎて手を上げてしまう親御さん、ストレスから子どもの世話が出来なくなる等の虐待も増えていると聞きます。必死で生き抜いた人が疲れ果てて引きこもったり自殺したりという辛い現実もあります。現実に私の身近にいる友達も、震災時を思い出すこの寒い時期に入ってから、なかなか外に出てこれなくなっています。そんな中ですが、頑張っている人たちも沢山います。私達と共に活動している若手の牡蠣漁師チーム「渡波オイスターズ」は、新しい取り組みへチャレンジしようと私達と一緒に試行錯誤しています。3月にはまた横浜にきて牡蠣の販売やイベントへの出店などをしたいと計画しています。ただ支援してもらおうのではなく、今まで出来なかったことを実現させていく新たなチャンスへと目線を変え、応援して下さる皆さんと共に今後も歩んでいけたらと願っています。皆様への心からの感謝と、ますますのご支援・ご協力をお願いしたいと思っていますので、今後どうぞよろしくお願い致します。

亀山友里子・・・K2グループ(うんめえもん市の運営母団体の若者支援団体)でボランティアスタッフから現場スタッフとして3年間勤務後、生まれ育った石巻に戻り生活していた。2年前の震災では自宅・職場共に被災し、1か月以上の避難所暮らしをしていた。現在のK2石巻プロジェクトはゆりこ救出作戦から始まったのだ!と言っても過言ではありません。



昨年から石巻での活動に長期で行く事が多くなり、地元の人たちと一緒に日々駆け回っています。うんめえもん市で応援していただいている皆さんに、「石巻の今」を知っていただきたいと思い、新たなコーナーを開設しました！これはあくまで私達の視点から見聞きし、感じた事です、地元での活動をお伝えしていければと思っています。

さて、私達は今、移動販売車で石巻の仮設住宅を廻り移動居酒屋さんをやっているわけですが、石巻市には平成24年12月1日現在、石巻地区だけで73団地4174戸、石巻市全域では134団地7153戸の仮設住宅団地があります。各地で復興公営住宅の建設は始まっていますが、石巻地区では平成25年度に162戸、26年度で1600戸、4年後の28年度を目途に合計4000戸の完成予定となっており、仮設住宅団地に住む被災された方々はあと数年は仮設での生活を余儀なくされている状態なのです。

仮設住まいの問題は単に寒い・暑い・狭い・・・という事だけでなく、コミュニティーの崩壊という問題が大きくあります。小さい仮設住宅団地では集落ごとに移ることが出来たのですが、50戸以上の大きい仮設住宅団地では石巻市内各地から被災された方々が入居しているため、隣に住む人がどこの誰だか全く分からず、ほとんどの仮設住宅がまず自治会作りから始めました。当初は支援者も入って形をつくりましたが、自治会を仮設住民の自主的な運営に切り替えてきています。しかし、仮設住宅団地の自治会長は様々な課題が起こる事のクレーム処理係のような状況になっており、心身ともに疲れ果ててしまい、自治会長のサポートをする支援者が必要という声も上がっています。



K2ではこの一年間、移動販売車で石巻市内の26か所の仮設住宅を廻って移動式居酒屋をやっています。焼き鳥やたこ焼きなどを販売しながらお酒も出しているのですが、部屋で一人で飲まないで、出てきて一緒に飲んで話して・・・これからの石巻をどうしていくかを語り合う場にしたいと思っています。しかし現実には難しく未だに一度もお会いしたことのない方々がたくさんいます。仮設を廻っていると女性は色々前向きにやっている方が多いのですが、男性のほうが人との新しい関係をつくれずに引きこもりがちになる人が多いように思います。なんだか若者支援の現場と同じような・・・。(苦笑) K2以外にも、いくつかの団体が支援を継続しているので、支援団体同士でのミーティング・意見交換などしながらやっています。震災からもうすぐ2年、当初予想されたように世の中からは復興支援という言葉が薄れてきています。しかし、まだまだ石巻ではこのように震災の影響で様々な問題が山積みです。いかに支援を持続・継続できるか・・・それは復興支援・若者支援どちらにも今求められている事のように思いますね。みなさん少し暖かくなったら石巻に遊びに来ませんか？お待ちしております。

3月の開催予定

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 3日(日) ISOGO ダンスまつり@磯子区役所(9:30~15:00) | 6日(水) 旭区役所(11:00~14:00) |
| 7日(木) 都筑区役所(11:00~15:00) | 9日(土) K2ビル 震災復興記念(10:00~14:00) |
| 10日(日) 保土ヶ谷区天王町商店街絆バザール(10:00~16:00) | |
| 11日(月) 横浜市役所(本庁舎1階)(11:00~14:00) | |
| 17日(日) つづき人交流フェスタ@都筑区役所(10:00~15:00) | 18日(月) 栄区役所(11:00~14:00) |
| 19日(火) 西区役所(11:00~14:00) | 25日(月) 金沢区役所(11:00~14:00) |
| 26日(火) 磯子区役所(11:00~14:00) | ※予定は変更されることがあります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。 |

終わりに

「うんめえもん市」はよこはま型若者自立塾から始まった社会的企業です。3・11の後、4月の段階で被災地に入り、そこから今までに15回横浜型自立塾の一環として石巻へ若者達を連れて行きました。またそこから長期滞在型のプログラムをスタートし、さらに横浜と石巻をつなぐ支援活動としてこの「うんめえもん市」を始めました。横浜市子ども青少年局には場所の提供や様々な調整をお願いし、市役所の8階会議室でスタートしたものが、市役所1F広場と9つの区役所で開催させていただくようになりました。もちろんお客様としても沢山の市職員の皆さんにお弁当や物産品を購入いただいている事が大きな支えになっています。改めて心から感謝申し上げます。これからも「うんめえもん市」への応援・協力よろしくお願ひいたします。(編集担当 M)